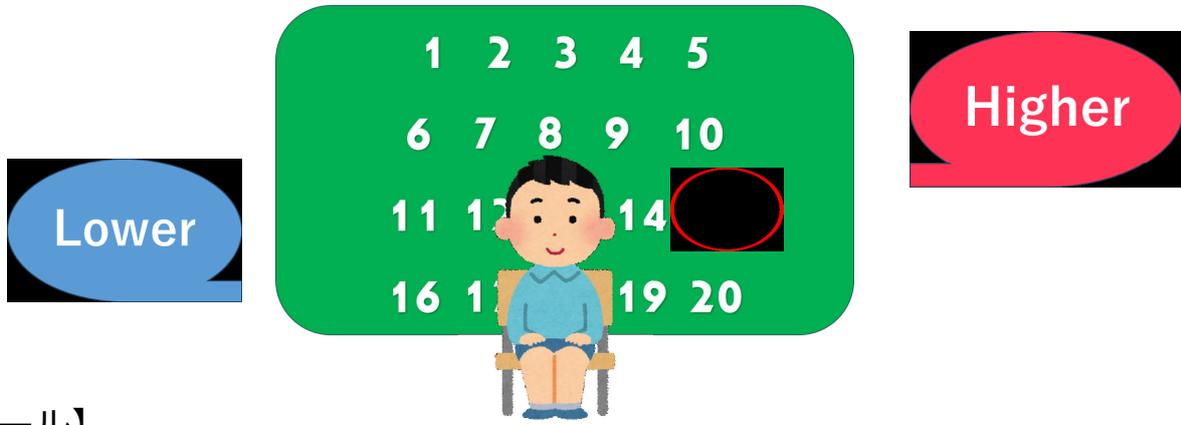


Higher or Lower

「もっと上!」「もっと下!」をヒントに数字を当てるゲームです。
 説明用のパワーポイントがあります。
 説明を含めて15分～ (何人が解答者になるかによります。)



【ルール】

解答者、1名…前に来て、黒板を背に座る。
 数字を選ぶ人、1名…1~20の中から1つ好きな数字を選び、黒板にある数字を○で囲む。席に戻る。
 解答者は、1~20のうちどの数字を選んでいるか当てる。チャンスは4回。
 ほかの人たちは、その数字より答えが低ければ、Lower, 高ければ、Higherとヒントを与える。

「おいしい! Close!クローズ」も教えておくといいです。
 ※「閉じる」の「クローズ」ではありません。

例) 答えが15の場合
 解答者: Nine?
 クラス: Higher. (答えは1-9ではないと分かる。)
 解答者: Seventeen?
 クラス: Lower. Close! (答えは10-16のどれかだが、17に近い数だと分かる)

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

児童用の説明文です。パワーポイントのスライドのノートにも書いています。

1人が前に来て、みんなの方を向いて座ります。答える人です。
 もう1人が、答えとなる数字を選びます。ここでは15を選んだことにします。
 答える役の人、選ばれた数字、この場合は15、をあてるために、数字を言っていきます。
 たとえば「ナイン」と言ったら、
 9は15より小さい数字なので、全員で「もっと上」とヒントを出します。
 「もっと上」は、「Higher」と言います。(Higher. 練習をする)
 1~8の可能性はなくなりました。 黒板に書く例
 2回目、「セヴンティーン」。答えの15は、17より小さいので、全員で「もっと下」
 「Lower」とヒントを出します。(Lower. 練習をする)
 これで18~30は可能性から消えます。
 答えにとっても近いときは、「惜しい、Close.(クローズ)」と言います。(Close. 練習をする)
 全部で4回答えられます。あとチャンスは2回です。